編集後記

脳血管内治療の領域で，関係者の努力もあり，いろんな device の利用が可能になってきました．その導入が，諸外国よりも遅いことは問題ですが，新しい device を使えることは朗報です．今回，急性期脳虚血の t-PA 適応症例への脳血管内治療の介入論文が 2 つ掲載されています．症例数は多くはないですが，読者へ有意義な message のある論文と思います．ちょうどこの号が発行される頃には Mercy retriever の利用も可能となり，NIHSS の高い点数の failed t-PA case に対する介入が新しい段階に入るように思います．t-PA 治療が，可能な病院がリストアップされる中で，このような failed t-PA case への対応可能な病院が，さらにリストアップされるようになるかもしれません．

JNET の論文も他の論文に，少しずつ引用されるようになってきました．和文誌である限り，Pub Med に引用されることは困難ですが，少なくとも掲載論文が他論文で引用されなければ，文字通り citation index の獲得すら困難な話です．益々の JNET への投稿と JNET 論文の引用をお願いいたします．

編集委員長　小宮山雅樹

JNET　Vol.4 No.2 September 2010

2010 年 9 月 30 日発行　第 4 巻　第 2 号
編集・発行　NPO 法人日本脳神経血管内治療学会
〒 102-0074　東京都千代田区九段南 2 － 1 － 30
イタリア文化会館ビル 8 F
TEL：03-3239-7264　FAX：03-3239-7225
E-mail：jsnet-admin@umin.ac.jp
Web site：http://www.jsnet.umin.jp/
製　作　株式会社メディカ出版
〒 564-8580　大阪府吹田市広芝町 18 － 24
TEL：06-6385-6931　FAX：06-6385-9091

本書の著作権は当学会が所有しておりますので、当学会の許諾を得ないで本書の内容を転載刊行することを禁じます。